

統計スポット情報

No. 167

22. 3. 31

福井県総合政策部政策統計課

- 福井さん一家の新生活 -



4月といえば、転職や進学などで新生活を始める人も多い時期ですね。そこで今回は、福井県に1ターン就職した福井さん一家の視点で、転居を中心に本県の住環境について見てみましょう。

福井さん一家は、お父さん(38)、お母さん(36)、長女さくらちゃん(7)の3人家族。お母さんの実家がある福井県の豊かな自然に魅了されて、お父さんが16年間勤めた東京の企業を退職、この4月から福井県内に就職して、一家は福井県で新生活を始めます。

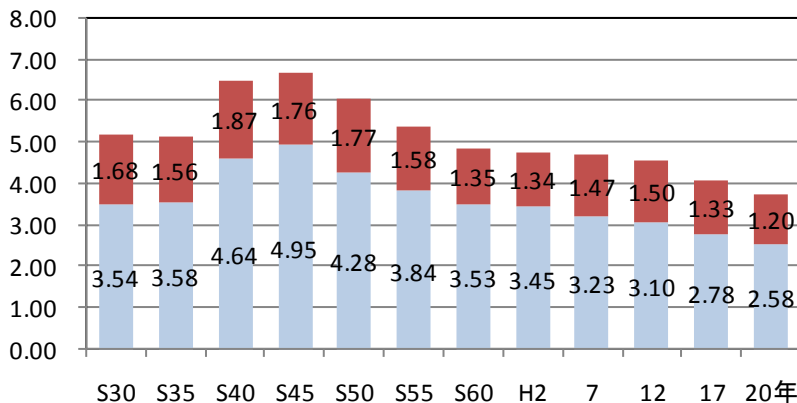


さくらちゃん：4月から新しい環境で、ちょっと不安。他にも転校してきたお友達がいると心強いなあ。

お父さん：そうだね。じゃあ、福井県で毎年どれくらいの人が市町や県をまたいで引っ越しをしているのか、調べてみようか。

(出典：住民基本台帳人口移動報告年報(総務省))

(%) 総人口に占める移動者数(移動率)の推移(福井県)

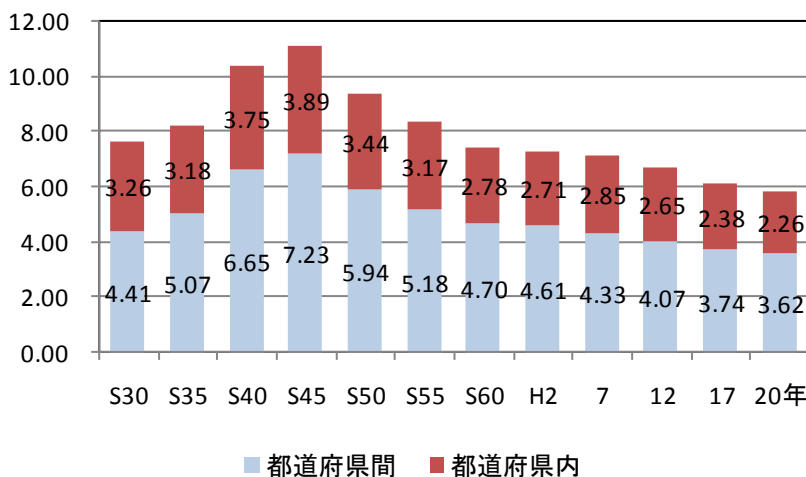


左のグラフは、総人口に対してどれくらいの人が住民票を移して引っ越ししたのかを示しているんだ。「都道府県間」というのが、僕らのように県外から引っ越してきたり、県外へ引っ越ししたりした人(都道府県をまたいで住民票を移した人)の割合だね。それに対して「都道府県内」は、県内市町村間で引っ越しした人(市町村をまたいで住民票を移した人)の割合を示している。

県外から引っ越してきたり、県外へ引っ越ししたりした人は、平成20年で福井県の総人口の2.58%。これに県内市町村間で引っ越しした人を合わせると、平成20年は3.78%の人が住民票を移しているね。

移動率の推移を見ると、福井県でも全国的にも、緩やかな減少傾向にあるんだね。

(%) 総人口に占める移動者数(移動率)の推移(全国)



■ 都道府県間 ■ 都道府県内

都道府県内移動率順位(H20)

順位	都道府県	移動率
1	北海道	4.00
2	沖縄県	3.31
3	福岡県	3.29
	⋮	
45	福井県	1.20
46	秋田県	1.09
47	富山県	1.08

都道府県間移動率順位(H20)

順位	都道府県	移動率
1	東京都	6.12
2	千葉県	5.12
3	神奈川県	4.98
	⋮	
45	福井県	2.58
46	新潟県	2.30
47	北海道	2.18

住民票移動率順位(H20)

順位	都道府県	移動率
1	東京都	9.07
2	神奈川県	7.53
3	福岡県	7.50
	⋮	
45	新潟県	3.95
46	福井県	3.78
47	富山県	3.70

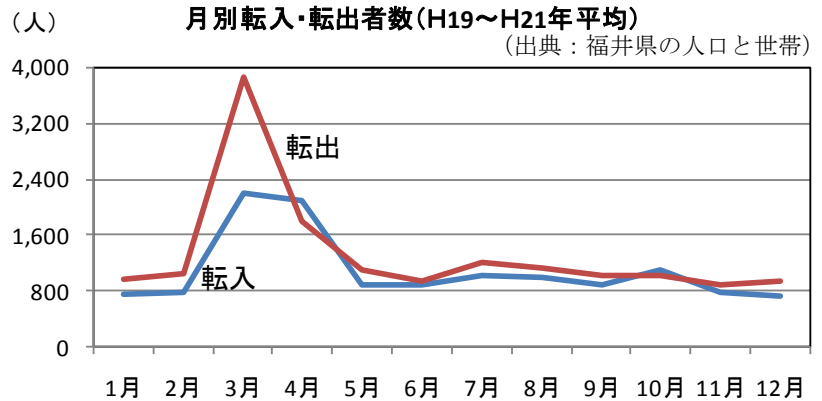
※都道府県間移動率＝各県の（転入者数＋転出者数）÷総人口。
 都道府県内移動率＝各県の（都道府県内移動者数）÷総人口
 住民票移動率＝各県の（転入者数＋転出者数＋都道府県内移動者数）÷総人口。
 都道府県間と住民票の移動率は各県の移動率の平均値

ところで、福井県で住民票を移して引っ越しをする人は、全国と比較するとかなり少ない割合だったけど、平成20年の各移動率の全国順位を見ても、福井県はいずれも45～46位だから、人の移動があまりないことがわかるね。これに対して、例えば北海道は道内で移動する人の割合は高いけど、都道府県をまたいで移動する人の割合は低いとか、その都道府県で特徴があるね。

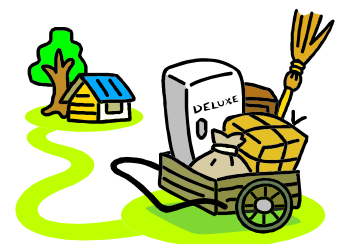
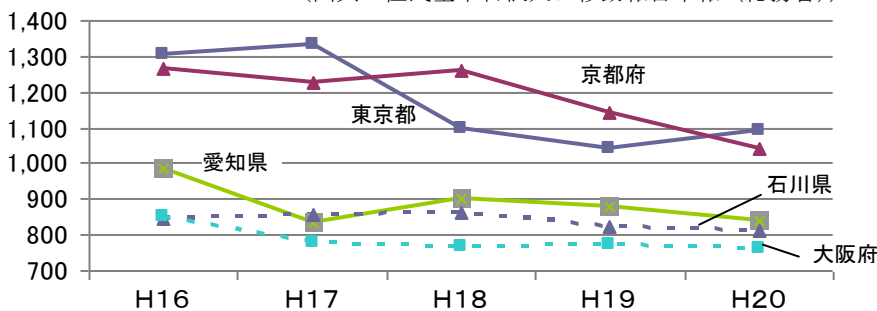
お父さん：福井県の人口は平成20年10月1日現在で約80万人だから、市町や県をまたいで引っ越しをした人は約3万人だったということだね。

その中でも、月別の移動者を見ると、やっぱり3月、4月が多いね。

さくらちゃん：どこから引っ越ししてくる人が多いのかな？



移動前住所地別 福井県への転入者数の推移
 (出典：住民基本台帳人口移動報告年報(総務省))



平成20年は1位東京都、2位京都府、3位愛知県、4位石川県、5位大阪府だったけど、推移を見ると、順位は入れ替わっているものの、ここ数年、上位5位の顔ぶれは同じなんだ。ちなみに、福井県から県外に引っ越しする人が多いのもこの5都府県なんだ。平成20年は1位大阪府、2位東京都、3位石川県、4位愛知県、5位京都府だったよ。

さくらちゃん：わたしみたいに県外から引っ越ししてくる子供はどれくらいいるのかな？

お父さん：じゃあ、さくらと同年代の5～9歳の子で見てもよいか。

福井県の5～9歳人口に占める県外移動者の割合の推移

	H19		H20		H21	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
県外転入者	466	1.2	451	1.2	482	1.3
県外転出者	543	1.4	536	1.4	518	1.4
5～9歳人口	39,790	—	39,095	—	38,325	—

移動前の住所地 ランキング(5～9歳)

順位	H19	H20	H21
1	石川県	石川県	石川県
2	大阪府	大阪府	大阪府
3	東京都	富山県	富山県
4	兵庫県	三重県	兵庫県
5	滋賀県	滋賀県	東京都

移動後の住所地 ランキング(5～9歳)

順位	H19	H20	H21
1	石川県	石川県	石川県
2	愛知県	富山県	大阪府
3	兵庫県	大阪府	滋賀県
4	大阪府	兵庫県	東京都
5	滋賀県	東京都	富山県

※5～9歳人口に係る数字には外国人を含む(出典:福井県の推計人口(年報)) ※H20の三重県、滋賀県は同率4位 ※H21の滋賀県、東京都は同率3位

県内へ引っ越してくる子は毎年 460 人前後、逆に県外に引っ越す子は 530 人前後だね。割合でいうと県外からの転入者は 1.4% だから、さくらみたいな県外からの転校生は約 71 人に 1 人くらいかな。

移動前後の都道府県を見てみると、石川県、大阪府、東京都は全体と共通の顔ぶれだけど、5～9 歳の子供だけだと、富山県や兵庫県、滋賀県が上位に入ってくるんだね。

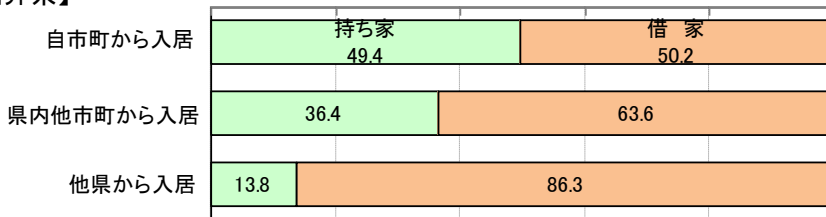
さくらちゃん: 転校生はそんなに多くないんだね。わたしの周りにもそういう子がいるといいな。

ところでうちはマンションに住むけど、県外から引っ越してくる人は、どんなところに住むんだろう。

移動世帯が入居する住宅

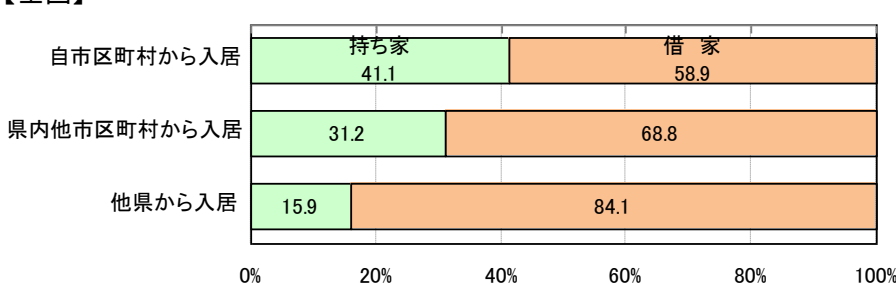
(出典:平成 20 年住宅・土地統計調査(総務省))

【福井県】



他県から引っ越してくる一家は借家に住む人が多いけど、それでも約 14% は持ち家に引っ越してくるんだね。

【全国】



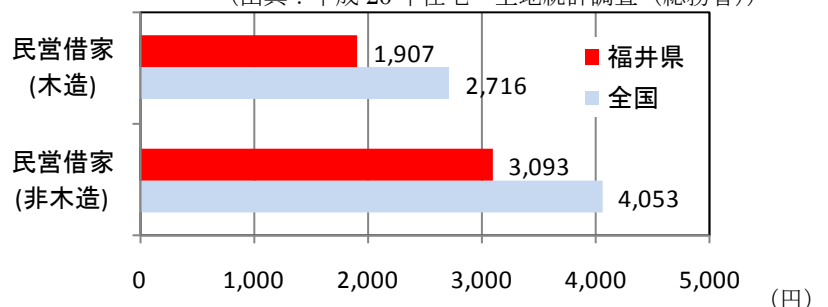
お母さん: ところで福井県の家賃って、全国に比べてどれくらいの水準なのかしら？

お父さん: うちの民間借家(非木造)だから、平均家賃は 1 畳当たりで 3,093 円だね。

お母さん: 全国に比べると、すごく安いのね。嬉しいわ。ところで、うちは 2LDK の賃貸マンションだけど、福井県で多いのはどんな住まいなのかしら。それと、1 世帯当たりで平均どれくらいの広さの住居に住んでいるのかしら。

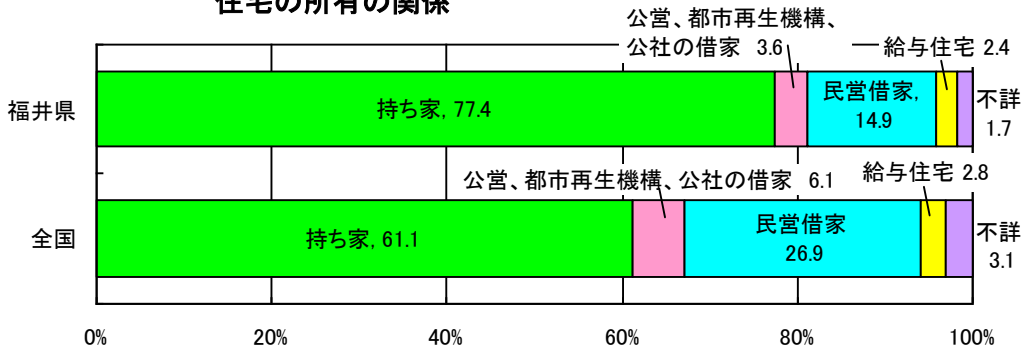
民間借家の1畳当たりの家賃

(出典:平成 20 年住宅・土地統計調査(総務省))



お父さん：早速見てみよう。

住宅の所有の関係



(出典：平成 20 年住宅・土地統計調査 (総務省))
 ※住宅・土地統計調査の「持ち家」には分譲マンション、分譲一戸建 (いずれも分譲済みのもの) を含む

持ち家住宅率順位 (H20)

順位	都道府県	(%)
1	秋田県	78.4
2	富山県	77.5
3	福井県	77.4

1住宅当たり延べ面積 (H20)

順位	都道府県	(m ²)
1	富山県	148.69
2	福井県	144.73
3	秋田県	136.94

1住宅当たり居住室数 (H20)

順位	都道府県	(室)
1	富山県	6.46
2	福井県	6.24
3	岐阜県	6.02

(専用住宅)

(専用住宅)

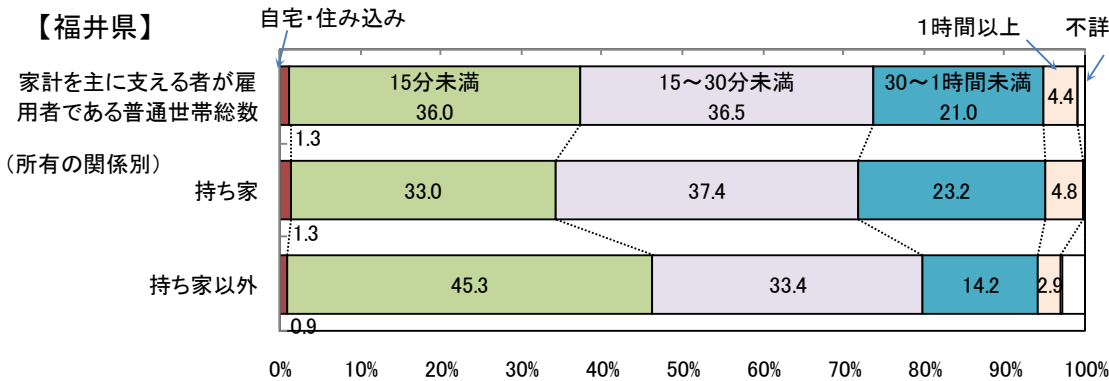
さくらちゃん：福井県の方は広いお家に住んでるんだね。

お父さん：3世代世帯割合が高いからね (20.2%、全国 2 位 (平成 17 年国勢調査))。福井県は持ち家率も高くして住環境がとても豊かだね。ところで、職場への通勤時間はどうか。

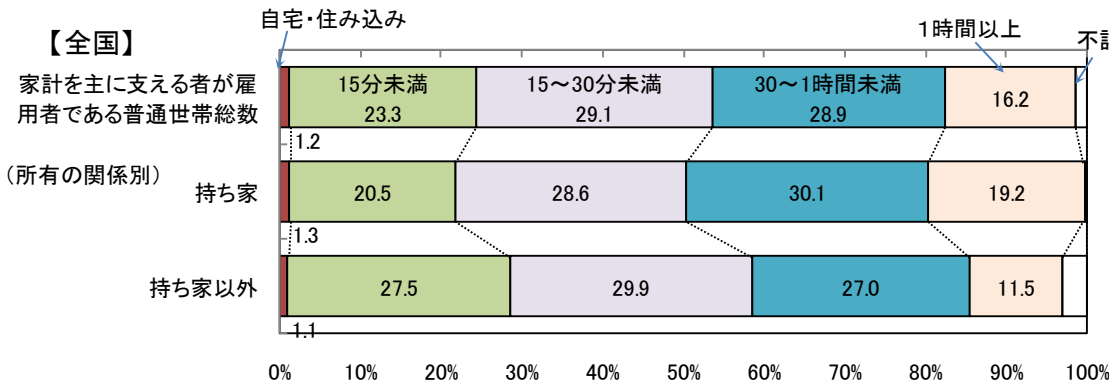
(世帯主の職場までの通勤時間)

(出典：平成 20 年住宅・土地統計調査 (総務省))

【福井県】



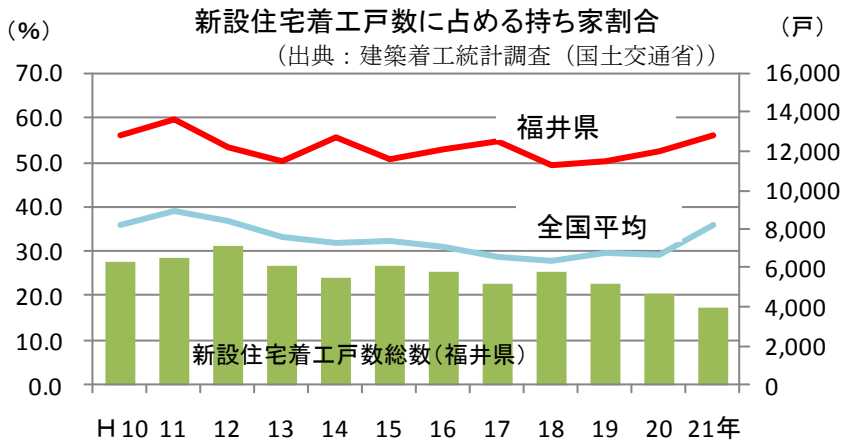
【全国】



福井県では、会社などに勤める人の実に 70%以上が自宅から 30 分未満のところに住んでいるんだね。全国では、30 分以上のところに住んでいる人が全体の 45%以上なんだね。



お父さん：やっぱり福井県に住むのだから、いつかはマイホームを持ちたいね。最近だと、どれくらい新築住宅がつけられているのかな。

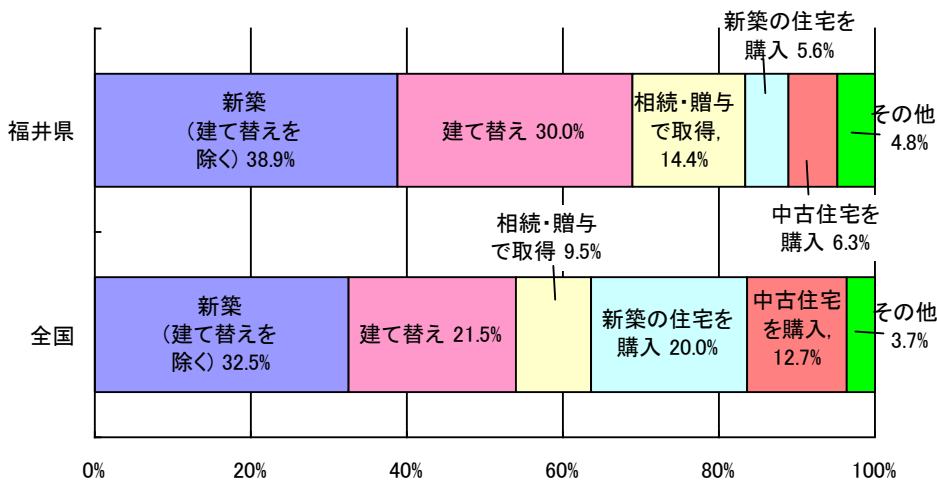


※建築着工統計調査の「持ち家」には分譲マンション、分譲一戸建を含まない。

平成 21 年に福井県で新たに着工した新設住宅戸数は、総数が 3,995 戸、持ち家が 2,247 戸だった。新設住宅着工戸数に占める持ち家の割合を見ると、福井県は大体 50~60%前後で全国平均を大きく上回って推移しているね。福井県の人はやっぱり持ち家志向が高いんだね。

住宅の所有の関係 (入手手段)

お母さん：持ち家を新築する人の割合が全国より高いことはわかったけど、実際、どんなふうにか家に手を入れる人が多いのかしら？ (出典：平成 20 年住宅・土地統計調査(総務省))



お父さん：住宅の入手手段を見てみると、やっぱり福井県も全国も「新築」が1番多くて、2番目が「建て替え」なんだね。でも、3番目は全国では「新築の住宅を購入」なのに、福井県は「相続・贈与で取得」というのが特徴的だね。

お母さん：親から家を譲り受ける…つまり親が家を持っているってことね。ここにも持ち家率の高さが表れているわね。

さくらちゃん：ねえねえ、お父さん。いつかお家を建てたら、おじいちゃんやおばあちゃんとも一緒に暮らせるようになれたらいいね。

お父さん：そうだね。やっぱり家族は近くに住んでいたいからね。

お母さん：今までいろいろ見てきて感じたんだけど、福井県は住環境がとても良いわ。

お父さん：うん。福井に引っ越すと決めて良かったと改めて思ったよ。4月からは福井での新しい生活が始まるね。引っ越しが終わったら早く福井の生活に慣れるよう頑張ろう。

ところで、今年には5年に1度の国勢調査の年だね。福井県民として初めての調査、しっかり書かなくちゃね。



今年 10 月 1 日に、
「平成 22 年国勢調査」を実施します。

我が国に住んでいるすべての人を対象とする
国の最も基本的な統計調査です。
どうぞよろしくお願いいたします。

